

協議員としての任期を終えて

内藤政義 10年間、有り難く感謝しながら卒業を迎えるました。辻川区の益々の発展と素晴らしい町づくりへ、人づくり、文化づくりに、今後を期待しています。皆様のご健康とご活躍心より念じています。

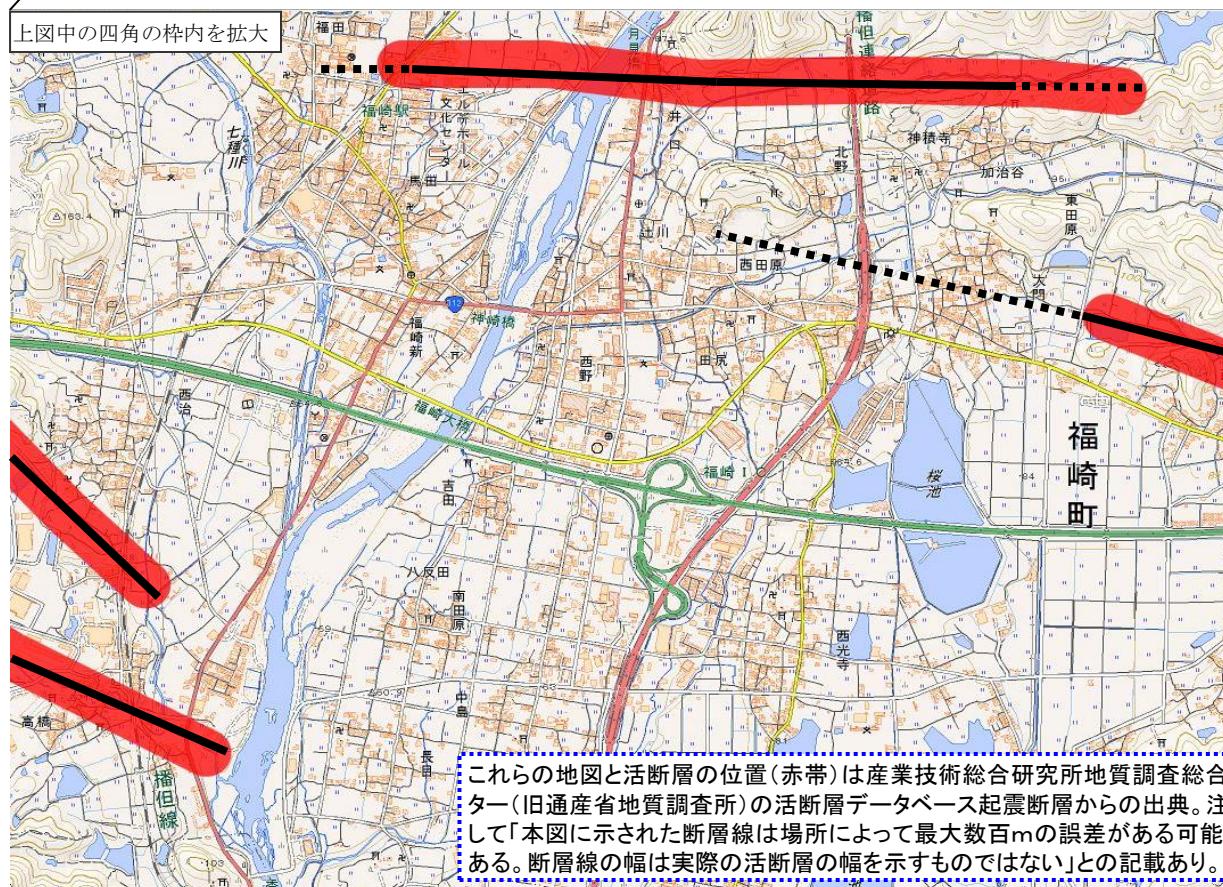
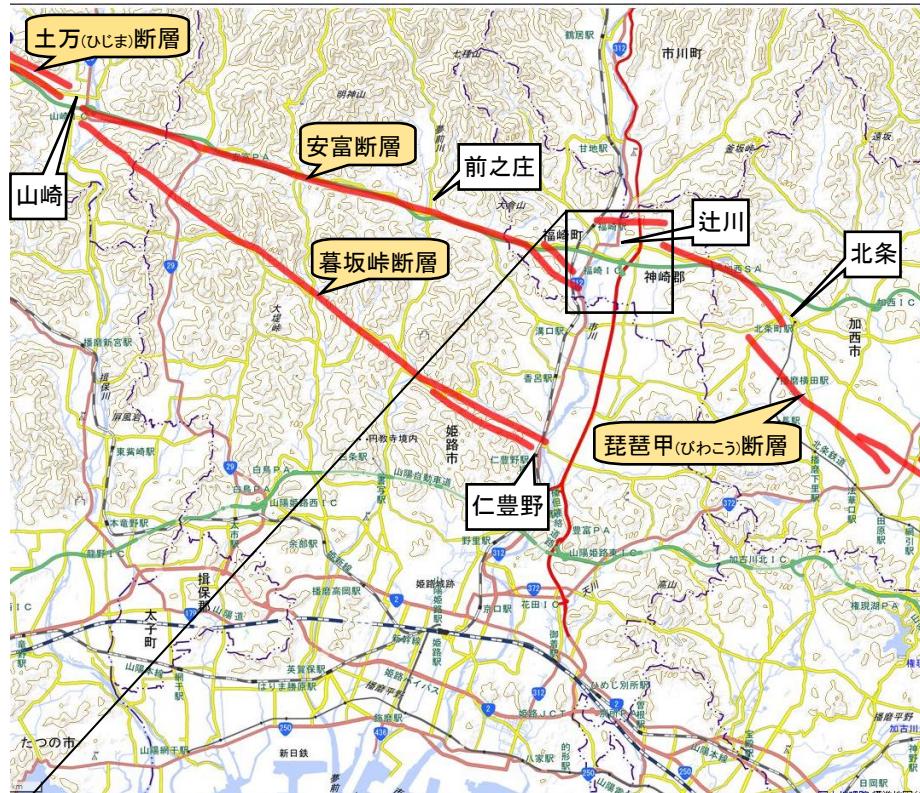
川端一郎 每年の行事優先から、本來の「企画立案・推進・実行・振り返り」の道筋づくりが必要と思った。松岡博子 思いも掛けず協議員に推され、元気だけが取り得の私が皆様のご協力のお陰での年間を過ごすことが出来ました。今後は一区民として辻川区の発展を願っています。有難うございました。

鈴木健文 区の更なる活性化、発展、円滑な運営に向けて、新たな知恵と意識、行動力が必要とされています。今後は新しい方に委ねたいと思います。この協力有難うございました。

井上良宣 一期四年を終えて、自分の無力さを感じています。文化を担当する中で、界隈展については開催時期や内容を検討する時期が来ているように思いました。界隈展に限らず、辻川区の諸問題を新しいメンバーで解決する環境が出来ればと考えています。有難うございました。

桑原賢治 協議員として何もしない一年目が過ぎ、何も出来なかつた二年目が過ぎ、先輩協議員の厚意に甘えた一年間でした。唯、辻川区の行事に少しだけでも興味を抱いている自分を見つけたことに価値がありました。感謝

植田弘造 振り返ると中途半端な事が出来なかった一年間でした。協議員というのは一足の草鞋わらじでは難しいということだと思います。役員改選ではそういう点もよく考えて投票をお願いします。



これらの地図と活断層の位置(赤帯)は産業技術総合研究所地質調査総合センター(旧通産省地質調査所)の活断層データベース起震断層からの出典。注記として「本図に示された断層線は場所によって最大数百mの誤差がある可能性がある。断層線の幅は実際の活断層の幅を示すものではない」との記載あり。

編集後記

この夏、東日本大震災の被災地を、福島県の浪江町から海岸線を北上し宮城県の石巻市まで駆け足で巡ってきました。海岸線はどこも防波堤の建設と住宅用地のかさ上げ工事が同時進行の様相でした。津波にさらわれた旧の町並みは家の基礎のみを残し夏草が一面に生い茂っていました。地主さんの厚意で続けてきた復興商店街の中には立ち退きの期限が迫ってきていたりもあるようです。「生きていらるべきではない」・家族を亡くし、多くの借金を抱え、先行きの見えない中で懸命に明るく歩むまれている姿に頭が下がり、逆に元気をもった旅になりました。[田崎]

前田亮平

初めて協議員をさせてもらった、辻川区の運営は皆さんの協力が不可欠である事、自分が何も知らない事で痛感した2年間でした。勉強になりました。

中村武嗣 二年間の任期を何程の事も出来ないまま終えました。これからは若い人に頑張って貰い、辻川がさらに良くなることを願います。お世話になり有難うございました。

災害に備える 7

地震対策 ① 山崎断層などについて

福崎町は山崎断層系の部分断層である琵琶甲断層と安富断層上に位置します。そのため、数十年前から断層運動によつて大地が破碎され東西の谷地形ができ、南北方向には市川が谷を刻み氾濫原を広げてきました。これらの自然の営み展してきました。今、私たち福崎の住民が最も懸念するのが、この山崎断層系の地震と、数十年うちに確実に起こるとされる南海トラフ巨大地震(南海・東南海・東海地震が連動)です。これらの地震についてはすでに「辻川だより」1~4号で特集してきましたので(手元にない方はホームページ参照)

今号では山崎断層系が福崎町のどじを通るのか、国(地質調査総合センター)が公開しています(左図の赤帯、その中の黒線は田崎の加筆、破線は推定)。ただし、この図は左下にも注記したように誤差を含んでおり、市川の氾濫原堆積物の下に何本も枝分かれして存在している

可能性が高い(地下では一本の主断層が地表付近で枝分かれしていることがよくある)ことを付け加えておきます。また、活断層の位置を明らかにすることは資産価値の問題にもつながりますので、公表されているデータとはいえ取扱いにはお互いに注意しましょう。とはいっても、活断層上が最も危険といふ訳ではありません。

先の阪神淡路大震災の際に、地表に現れた野島断層上に建つ民家のブロック塀が、断層の動きのままに上下にずれてはいましたが倒壊せずに立っていました。建物被害の要因としては、地盤の特性(埋立地や地下水位の高い砂地盤、山麓部のひな壇状の造成地、地震波が集中する地下構造など)、建物の構造(柱や壁が少ない、重い瓦屋根)や使い方(2階に重い荷物)や老朽化などがあげられます。辻川の主な地盤は、「じぶし大円礫からなる氾濫原(段丘)堆積物ですから比較的安全です。建物については耐震診断をして、耐震工事をすることが何よりも重要ですが、次号以降では家庭ができる家具の転倒防止対策や非常持出品の準備、安否確認方法のポイント等をまとめます。